

福祉サービス第三者評価結果報告書

1 評価機関

名称	公益社団法人鹿児島県社会福祉士会
所在地	鹿児島市鴨池新町1番7号 社会福祉センター5階

2 事業者情報【2022年11月17日現在】

事業所名称：社会福祉法人常盤会サニーキッズ (施設名)	サービス種別：児童発達支援 放課後等デイサービス
開設年月日：平成28年4月1日	管理者氏名：施設長 大橋 紘一
設置主体：社会福祉法人 常盤会	代表者役職・氏名：理事長 久木元 司
経営主体：社会福祉法人 常盤会	代表者役職・氏名：理事長 久木元 司
所在地：〒890-0054 鹿児島市荒田1丁目2番13号	
連絡先電話番号：099-230-7278	FAX 番号：099-230-7273
ホームページアドレス www.tokiwakai.com	E-mail：sunny@tokiwakai.com

【利用者の状況】

定員 児童発達支援 10名 放課後等デイサービス 10名	利用者数 児童発達支援 13名 放課後等デイサービス 22名
---------------------------------	-----------------------------------

【職員の状況】

職 種	勤務区分				※常勤換算	※基準職員数
	常勤(人)		非常勤(人)			
	専従	兼務	専従	兼務		
施設長		1			1	1
児童発達支援 管理責任者	2				2	2
児童指導員	5		1		5.6	4
保育士	2		1		2.4	
前年度採用・退職の状況			採用	3人	常勤 3人	非常勤 0人
			退職	1人	常勤 1人	非常勤 0人
○常勤職員の当該法人での平均勤務年数						4.8年
○直接処遇に当たる常勤職員の当該法人での平均勤務年数						2.5年
○常勤職員の平均年齢						31.5歳
○うち直接処遇に当たる職員の平均年齢						28歳

基本理念・運営方針

【法人理念】

- ・地域の方々の社会福祉支援を目的に誠心誠意のサービスを行います。
- ・地域の方々が安心、快適にご利用いただける社会福祉サービスを行います。
- ・全ての職員は、倫理理念を遵守し、専門性を高め、地域社会の一員として社会福祉の充実を目指します。

【事業所の基本方針】

- ・子ども一人ひとりの個性やニーズを的確に把握し、主体性と自己肯定感を尊重し、成長や学びにつながる遊びを通して達成感と満足感が得られるよう、豊かな育ちを支える療育に取り組めます。

【施設事業所の特徴的な取組】

- ・児童発達支援、放課後デイサービスともに定員10名の小規模の事業所です。
- ・児童発達支援については、1日を通しての受入を行っており昼食の提供やおやつを提供を行っているため食事や基本的な生活習慣などの定着を希望する方からのニーズが高い。また、延長支援も行っているため、子どもの成長をより伸ばすことができる時間を確保したり、お仕事をされているご家庭でも長く療育に通う時間を確保できることのメリットがあり、多くの方が利用されています。

3 第三者評価の受審状況

評価実施期間	2022年6月24日（契約日） ～2023年1月16日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	1回（令和元年度）

4 評価の総評

◇特に評価の高い点

1 社会福祉法人常盤会は、第三者評価制度発足以来、第三者評価の受審及び自己評価に継続して取り組み、鹿児島県内における社会福祉事業者のなかで、福祉サービスの質の向上を目指して率先した役割を果たしています。

サニーキッズは、第三者評価、自己評価を計画的に実施し、第三者評価は今回2回目の受審であり、その実施結果の分析・検討は、日常の福祉サービスの向上に活かされ実践されています。

2 法人では、人事管理における基本方針により人事基準等が明確に定められ、職員一人ひとりの育成に向けた取組を実施しています。事業所では課業一覧表を作成し、職員と管理者とのコミュニケーションによる目標設定、人事考課表による自己管理が行われており、自己のステップアップを実感できる仕組みになっています。

3 法人では人権擁護委員会を設置し、外部講師による職員研修や各事業所の委員が中心となり虐待防止マニュアルにもとづく啓発活動を行うなど、利用者の権利擁護に注力して取り組んでいます。人権擁護絵画コンクールで募集した利用者のイラストと職員の標語で作成された優秀作品を各事業所に掲示するなど、積極的な意識啓発活動を行っています。法人のパンフレットの表紙も利用者のアート作品です。

4 一人ひとりの子どもの発達段階・状況を正しくとらえ、子ども達が家庭や地域で自発的、意欲的な生活が送れるよう自ら「育つ療育」を目指しており、発達支援事業所では、幼稚園や学校への通学に移行できるよう、療育の役割を意識した取組が行われています。

5 日中活動内容等について、利用者の活動選択への理解が広がるよう、絵カード、イラスト、写真を用いたり、利用者が自分の声の大きさを理解できる様に数字で段階的に教えるなど、コミュニケーション能力を高める工夫が随所に施されています。

6 児童発達支援の通所幼児は原則保護者送迎のため、来所時、送迎時にいつでも相談を受け、自由に意見・要望を述べられる環境を整備しています。実際に送迎時の飛び出し防止柵や階段からの落下防止柵の設置など、迅速に対応している事例が確認できました。

◇改善を求められる点

1 福祉サービスの質の向上に向けた取組については組織的に行われ、課題検討会議で改善策や改善の実施状況が会議録等により確認できます。保護者等からの意見・要望は多岐にわたり、解決できるものから改善に取り組んでいることが結果確認できました。これら改善に向けて、職員参画のもとでの課題の明確化や改善計画作成、取り組み状況、取り組み結果など、プロセスが理解できる書類等の整備、検討を期待します。

7 第三者評価を受けての感想

今回は2回目の受審でありましたが、前回の結果を検証し改善に取り組んで臨みました。サニーキッズは事業規模も小さく、しかもコロナ禍のなかで、地域交流や地域貢献をどう進めるか悩んだ結果、我々の役割は関係機関との連携による就学支援、幼稚園・保育園へのスムーズな移行等、直接の社会参加のための取り組みではなく、補助的役割を使命と位置付けて取り組み、利用者及びご家族の意向に沿った支援を実践してきたこと等を評価していただいたことは、日々悩みながら支援を行ってきた職員には大きな励み、自信になりました。

今回、準備段階から評価結果が出るまでの過程で、これまでの取り組みを振り返り、資料を確認、そして不明不安な部分を探し、議論しながら自己評価をまとめ根拠資料で裏打ちする作業を進めましたが、その作業が職員間のコミュニケーションを深める機会となりました。またこの作業進めるなかで机を並べ座して行う会議から、日々のミーティングや朝礼の中にも意見を出し合う研修や業務改善の場が存在する事に気付き、事業所の強みとしてこのスタイルさらに工夫・改善していきたいと考えています。

最後に我々が気付かなかった視点からのご指摘ご指導に感謝し、今後の施設改善に取り入れたいと思います。

8 第三者評価結果

別紙の「第三者評価結果」に記載している事項について公表する。